

教育に関する総合調査の結果について

2学期に実施しました、「岡山市教育に関する総合調査」の結果について一部の抜粋になりますがお知らせします。この調査は、岡山市の子ども達の学習習慣や生活習慣、保護者や教職員の教育に関する意識を把握し、教育活動に活かすことを目的に毎年実施されています。継続的に実施していますので、経年を追っての推移を見ることが可能です。また、この結果をもとに次年度の教育課程を編成したり、新しい取組を行う上での手掛かりにしたりすることができます。現状の本校の取組に対する子ども達や保護者の皆様方の思いや考えを知ることができる貴重な資料ととらえています。

令和7年2月7日(金)に本校で開催された香和中学校区地域協働学校岡山市立野谷小学校第3回運営協議会において委員の皆様方には、授業参観の後、この結果やそれに基づいた次年度の教育基本計画(案)について示させていただきました。前年度よりも肯定的な意見が増えている項目も複数あり、引き続き魅力ある、開かれた学校運営を行うようご意見をいただきました。

今後も、学校のみならず、保護者の皆様方や地域の方々との関わりや地域行事を通じて、子どもたちの健全な発育・発達を目指してまいりたいと思います。三者が「協働」することの大切さを今後も意識していけるような取組をしていきたいと思っています。

※表中の市との比較の斜線は本校独自項目です。記号については、前年度の数値を上回っているものは数値の前に△、下回っているものには▼をつけています。

市との比較は市平均を上回っているものには数字のみを、下回っているものはマイナス(-)をつけた数字を記しています。

1 あいさつ

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、地域の人に進んであいさつをしている。	89.3	△2.9	5.1
	家で、家族の人に進んであいさつをしている。	88.5	▼1.7	
保護者	あなたは、お子さんの前でも近所の人にあいさつをしている。	100	△2.4	3.8
	あなたは、地域の人に進んであいさつをするよう子どもにうながしている。	98.6	△2.6	
	あなたは、家族の間であいさつを進んでするよう子どもにうながしている。	90.5	△0.2	

あいさつできていますか？全体的に数値が上昇しています。保護者の肯定的な回答が多く、日頃から心がけてくださっていることが分かります。その後ろ姿を見て子ども達もどんどんあいさつができるようになってほしいと思います。

2 楽しい学校

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、学校に行くのが楽しい	81.7	△13.5	1.2
保護者	あなたのお子さんは、「学校に行くのが楽しい」と言っている。	94.6	△8.3	9.1
	あなたは、子どもが楽しく学校に行っていると感じている。	97.3	△11.0	

いずれも数値が上昇し、岡山市の平均を上回る結果となっています。まずは、学校が楽しい場所になることは大切なことです。その楽しさが、「学習」や「人との関わり」であってほしいと思います。さらに楽しいと思える学校づくりを目指します。



3 分かる授業

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、学校の授業は分かりやすく楽しい。	74.8	▼0.2	-5.6
保護者	あなたのお子さんは、「学校の授業は分かりやすくて楽しい」と言っている。	71.6	▼1.4	-2.4
	学校は、分かりやすい授業を行っている。	91.9	△0.8	

本校では、R5・6年度の2年間、特別支援教育の視点を生かし、「できた」「わかった」と実感できる授業づくりに取り組んでいます。次年度以降も子どもにとって魅力ある授業づくりに努めてまいります。

4 ICTの活用

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、コンピューターなどのICTを使うと、勉強が分かりやすくなったり、発表がしやすくなったりする。	71.8	△4.4	-2.2
保護者	学校は、ICTを活用した教育活動を積極的に行っている。	83.8	△7.2	-4.1

数値は向上していますが、市平均には及んでいません。日常的に、文房具のように一人一台の端末を使うことができるよう、引き続き取り組みます。効果的な学びのツールにしたいと思います。



5 心の安定・安心感

		R6	前年度比	市との比較
児童	困ったとき、友だちや先生や家族など、相談できる人がいる。	90.1	△6.8	
	私には、良いところがある。	82.4	△5.9	-4.7
	私は、協力して取り組むことがうれしい。	85.5	△1.4	-2.4
保護者	学校は、子どもに関しての連絡や相談に応じてくれる。	95.9	△0.7	
	学校は、子どものことを真剣に考え、一生懸命に指導してくれる。	87.8	▼0.9	
	学校は、子どものがんばりをきちんと評価してくれる。	95.9	△5.6	

本校では「人間関係づくり・学級づくり」を大切にしています。心の安定が安心感につながり、学校が居心地のよい場所になることを目指しています。ほとんどの項目で数値が上昇しています。教育相談や心の健康観察などの取組も含め、今後も保護者の方々と、子ども達の自己肯定感を高め、笑顔溢れる学校づくりを目指します。



6 思いやりの心

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、人が困っているときに、進んで助けている。	84.7	△4.4	-0.2
	「野谷っ子グループ」や「ペア学年活動」では、助け合って活動しようと思っている。	82.4	△0.6	
	自分がしたことをふり返ったり、相手の立場に立って考えたりすることがよくある。	74.0	△5.1	
保護者	あなたのお子さんは、人が困っているときに助けたり、相談にのったりすることができる。	83.8	▼0.9	-3.4
	あなたのお子さんは、子育てを通して、思いやりの心が育ってきている。	89.2	▼8.4	-4.3

野谷小学校ではペア学年、縦割り班など異学年の交流を大切にしています。花植えをしたり一緒に遊んだりすることを通して、互いを思いやり、大切に思うことができる子どもが増えています。高学年がよいお手本を見せ、あこがれの存在になることができていることも成果の一つだと思っています。

7 学習習慣の定着

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、家で苦手な教科の勉強をしている。	50.4	△2.4	-6.9
	私は、家で自分で計画を立てて勉強している。	37.1	▼2.9	-14.9
保護者	あなたは、お子さんが計画的に勉強できるように促している。	82.4	▼0.7	-4.2
	あなたは、子どもが家庭で宿題以外の自主勉強をがんばっていると感じる。	44.6	▼3.8	

8 規則正しい生活・運動習慣

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、早寝早起きをするなど、規則正しい生活をしている。	74.8	△3.6	-0.4
	日ごろから運動(休み時間の外遊びを含む)するなど、進んで体を動かそうとしている。	74.8	▼3.2	
保護者	あなたは、お子さんが早寝早起きなど、規則正しい生活ができるようにしている。	90.5	▼0.6	-1.8
	あなたは、体を動かして遊ぶよう子どもにうながしている。	86.5	△5.0	



9 望ましい食生活

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、食事のとき、好き嫌いなく食べている。	73.3	▼0.9	-0.4
	私は、朝食を毎日食べている。	88.5	▼6.2	-4.5
保護者	あなたは、お子さんが食事を好き嫌いなくとることができるよう、お子さんの食生活に気を付けている。	86.5	▼0.6	-4.9
	あなたは、お子さんが毎日朝食を食べられるよう、準備や声かけをしている。	97.3	△2.1	-0.5



10 家庭での役割

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、家の手伝いを進んでしている。	69.5	△1.3	-3.5
保護者	あなたは、年齢に応じた役割を、お子さんに与えている。	82.4	△0.7	1.0

昨年度に引き続き、全体的に数値が下がり、岡山市と比較しても差が開いています。家庭での学習習慣は、小学校のうちに付けておくことが望ましいと考えます。ドリル学習はもとより、自分の得意なことに取り組んだり苦手なことに挑戦したり。ご家庭でも声かけをお願いします。

規則正しい生活、運動習慣の定着は、学習のみならず全ての生活の基礎をなす大切な要素です。本校では、全体的に運動能力や体力は岡山市の平均よりも高い傾向にありますが、運動をする子としない子の二極化も進んでいます。早寝・早起き・朝ご飯・排便を習慣化しましょう。

「食」は体・思考・心を成長させる上でのベースです。好き嫌いなく何でも食べることでできる子どもになってほしいと思っています。給食完食を目指してがんばろう！朝食を毎日食べる児童の割合が減っています。規則正しい生活とも関係しているようです。

お家で何か役割を与えておられますか？家族の一員であることを自覚し、その活動を認められることで、自己有用感が高まります。自主性を育むうえでも大切なことだと思います。

11 郷土を愛する心・地域との関わり

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、今住んでいる地域や、岡山市の歴史・自然に興味がある。	68.6	△15.3	2.6
	私は、地域の行事に役割をもって参加している。	72.5	△1.3	9.6
保護者	あなたのお子さんは、郷土（住んでいる地域や岡山市）を愛する心が育ってきている。	79.7	△5.5	3.4
	あなたは、お子さんと一緒に地域行事に参加している。	83.8	△0.1	17.6

野谷小の子ども達は、地域行事に参加する割合が高く、地域への愛着ももっています。お家の方や地域の方が行事を設けてくださり、そこに一緒に参加することで地元愛が育まれていきます。将来の地域を担う人材育成の要素もあります。今後も、ご家族みなで、積極的にご参加をお願いします。



12 粘り強さ・あきらめない心

		R6	前年度比	市との比較
児童	私は、どんなことでも、あきらめずに最後までやろうとしている。	77.9	▼2.4	-4.7
	学校行事や学習の中で、苦手なこともあきらめずに取り組んでいる。	77.9	△10.5	

三つの目指す子ども像の中の一つ「にんたい強い子」につながる項目です。粘り強く最後まであきらめずに取り組むためには、学習やその活動の魅力にいかにか触れることができるか、また教員がどこまで触れさせることができるかといったことも重要になってきます。「がんばれ」だけでは気持ちは続きませんね。

13 共に創る・開かれた学校・安全安心な学校

		R6	前年度比	市との比較
保護者	学校は、教育活動の様子や情報をよく分かるように伝えている。	85.1	▼0.4	-0.4
	学校は、学びやすい環境づくりや安全などに配慮して施設・設備を整えている。	82.4	▼7.9	-7.7
	学校は、学校内外の人材を活用しており、お子さんの総合的な学力が伸びてきている。	73.0	△6.9	-2.1
	学校や地域が行う様々な体験活動により、お子さんの総合的な学力が伸びてきている。	74.3	△2.5	-2.6
	学校は、授業や行事などを参観する機会を設けている。	100.0	△2.4	
	学校は、交通安全や防犯について積極的に取り組んでいる。	94.6	△9.1	
	学校は、子どもが健康・安全に生活できるような取組（コロナを含む感染症対策）を進めている。	95.9	△8.0	



学校の様子を知っていただく手段としての学校だよりや学級だより、また、参観日、自由参観日などの学校公開、ボランティアなどの学校教育への参画などを今後も積極的に進めてまいります。学校・家庭・地域社会が「協働」して子どもを育ていけるよう、ご協力をお願いします。

毎年、数値の上がり下がりがありますが、子どもたちや保護者の皆様方の学校教育に対する率直な思いであると受け止めています。今回のアンケート結果は、短期間に改善できるものばかりではありませんが、地道な取組の積み重ねが大切であると考えています。

数値が低いもの、下がっている項目については、今後改善を図っていく必要があります。原因を分析し、関連が想定されるような取組を見直したり、新しい取組を導入したりするなどして、実践を積み重ねることで、子ども達の健やかな成長につながる野谷小学校の教育を進めてまいりたいと考えます。保護者の皆様や地域の方々には、今後も、野谷小学校の教育により一層関心をもっていただくとともに、参画・協働をお願いしたいと思います。